

令和2年度 自己評価書

日向市立財光寺小学校

1

	観点	評価項目	結果の分析と対応策
学校経営スローガンとの関連	一人一人を大切にする学校 自己評価 (4.0)	楽しい学校	児童の実態を把握し、気になる児童に対する情報を全職員で共有しながら指導や支援を行ってきた。とくに、不登校傾向の児童には、担任だけでなく、管理職や養護教諭、専科等職員が積極的に関わりながら、児童や保護者に対して細やかな対応をしてきた。その結果が、90%を超える肯定的な意見につながっていると考えられる。 児童のがんばりを認め、誉めることに関しては、保護者や児童の実態が伴っていない部分もあることから、児童への称賛については、機会をとらえ継続していきたい。
		児童のやる気を引き出す活動と児童の活躍に対する称賛	【改善策または継続策】 ・気になる児童に関しては、職員全体で共通理解を図りながら、組織的に対応する。さらに、スクールソーシャルワーカーなどの関係機関等や地域との一層の連携を図っていく。 ・一人一人の児童をしっかりと見つめ、児童を称賛する機会を増やすとともに、授業の様子や児童の変容について、通信やホームページでの積極的な発信と報告の仕方の工夫を行っていく。 ・学習内容がわかることで「学校が楽しい」と思えるように、授業の工夫を行うとともに、児童ががんばっている時やできた時の姿をタイミングよく称賛する。 ・「誉めるべき所は誉める」「叱るべき所は叱る」といったメリハリのある指導を年間を通して継続していく。

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保①	お子さんは、楽しく学校に通っている。	63.1	30.6	4.1	0.9	1.3	93.7
児①	学校は楽しい。	70.7	20.5	4.9	1.9	2.1	91.1

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保②	学校は、子どもたちのやる気を引き出す活動を多く取り入れながら、がんばりを認め、ほめる取組を行っている。	41.6	43.2	10.1	0.3	4.4	84.9
児②	先生たちは自分のがんばりをほめてくれる。	63.7	22.2	5.9	0.6	7.6	85.9

2

	観点	評価項目	結果の分析と対応策
学校経営	学力の向上 自己評価 (3.6)	わかる授業指導の工夫	TVが各学級に設置され、デジタル教科書や実物投影機等のICT（情報機器）も整備された。このICTを効果的に活用し、「わかる授業」の実践に向けて、日々の授業の中で指導方法の工夫改善に取り組んできた。また、家庭学習の充実に向けて、課題の与え方や内容の工夫等も行っているところである。 しかしながら、「わかりやすい」と肯定的な回答が多かった児童とは対照的に、学習内容が「わかっていない」と感じている保護者が多いことが本集計結果からうかがえる。また、家庭学習の関わりが少ない家庭もある。

方針（１）との関連		
	家庭学習の充実	<p>【改善策または継続策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のための教材研究や資料準備の時間を確保する。 ・次年度は、一人一端末が導入されるので、ICT（情報機器）を活用した授業づくり等に積極的に取り組む。 ・OJT（教師相互の学び合い）や相互授業参観等をとおして、教職員の一層の授業力、指導技術の向上に努める。 ・花まる先生や地域の方々の協力を得ながら、授業支援や個別指導の充実を図っていく。 ・「家庭学習の在り方」について検討したり、その大切さや取組の工夫を保護者に伝えたりして、理解と協力を得る。

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保③	学校は、子どもたちの学力向上のために「わかる授業」や「わかる・できるための指導の工夫」を行っている。	42.0	39.1	<u>10.1</u>	1.6	6.9	81.1
児③	先生が教えてくれることや授業は、わかりやすい。	78.5	17.1	1.9	0.8	1.7	95.6

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保④	保護者として、宿題や読み声などお子さんの家庭学習に対して、丸付けや声かけ、励ましなどでかかわっている。	45.7	38.8	<u>11.0</u>	3.2	0.6	84.5
児④	家で宿題や宅習などにきちんと取り組んでいる。	77.6	13.1	5.1	2.7	1.5	90.7

3

	観点	評価項目	結果の分析と対応策
学校経営方針（２）との関連	豊かな心の育成 自己評価（3.2）	地域人材の活用と体験活動の重視	<p>コロナ禍により、地域人材を活用したり、体験活動を実施したりすることが難しかった。読書については、肯定的な意見が保護者・児童ともに少なかった。本に触れる機会を増やしたり、家読のさせ方を工夫したりして、読書に対する児童・保護者の意識の向上を図ることが必要である。</p> <p>いじめの防止については、いじめアンケート等による実態把握から、教育相談、いじめ対策委員会での情報共有、指導・観察・見届けというサイクルが確立され、学校全体で取り組むことができた。しかし、保護者は不安に感じている状況が本集計結果からうかがえる。</p> <p>学校でのあいさつ・会釈についてはよくなってきているが、地域でのあいさつがもう少しである。</p>
		「家読」（うちどく～家庭での読書）など読書指導の推進	
		児童の人間関係づくりといじめの未然防止	<p>【改善策または継続策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動に関しては中止ではなく、可能な限り工夫して行い、質の確保、向上を目指す。 ・児童が読みたい本を調査して注文したり、本を借りる機会を増やしたりして、読書への児童の関心を高める。 ・家読で読んだ本や保護者へのおすすめの本の紹介、市立図書館との連携など、読書推進のための啓発活動を工夫するとともに、家読への取組方法を見直し、改善を図る。 ・毎月のいじめアンケートをもとに日々気になる児童の観察を行うとともに、いじめを見抜く教師の目、絶対に許さないという学校全体の雰囲気醸成されるような研修、対策会議を継続的に実施していく。
		あいさつ等の望ましい態度の育成	

		規範意識の向上 ・全職員、保護者、地域を巻き込んだ「あいさつ運動」を推進する手立てを工夫する。 ・問題行動に関しては早期解決に心がけるとともに、通信や安心安全メール等を通して情報を発信し、児童・保護者への規範意識の向上を図る。
--	--	---

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保⑤	学校は、体験活動や地域の人材、資源を生かした学習活動を積極的に行っている。						
児⑤	校外での学習や地域の人との学習に楽しく取り組んでいる。	70.9	18.4	4.0	2.3	4.4	89.2

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保⑥	ご家庭で、「家読（うちどく）」の取組に向けて、お子さんが家で本を読むための環境づくりや声かけを行っている。	21.5	35.3	31.9	10.1	1.3	56.8
児⑥	家でもよく本を読んでいる（読書をしている）。	51.9	22.4	11.4	8.9	5.5	74.3

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保⑦	学校は、子どもたちのよりよい人間関係づくりやいじめを防止するための取組に努めている。	34.7	47.0	9.5	2.5	6.3	81.7
児⑦	クラスやまわりの友だちと仲良くしている。	78.1	15.2	3.2	1.7	1.7	93.2

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保⑧	ご家庭で、地域や家庭でもお子さんがしっかりとあいさつができるように指導や声かけを行っている。	47.3	42.9	7.6	0.9	1.3	90.2
児⑧	家や地域でもあいさつや返事をきちんとしている。	72.2	20.7	2.7	2.7	1.7	92.8

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保⑨	学校は、きまりや社会でのルール・約束を守る大切さについて指導を行っている。	56.2	36.3	5.0	0.3	1.9	92.4
児⑨	学校のきまりや約束をきちんと守っている。	74.7	18.6	3.6	1.7	1.5	93.2

4

	観点	評価項目	結果の分析と対応策
学校経営	体力の向上	体力づくりの推進	体力づくりについては、コロナ禍の影響で、5月に予定していた体力テストを実施できず、実態を把握することができなかった。外遊びについては学校をあげて推奨しており、昼休みにはたくさんの児童が外遊びを楽しんでいた。 マスクの着用、消毒、室内の換気等、新型コロナウイルス感染症への対応を積極的に行った。また、基本的な生活習慣に関しては、保護者の協力もあり、ある程度徹底することができた。
	自己評価（3.4）	健康管理と基本的な生活習慣の定着	食に関する指導については、市内の栄養教諭との連携を図った食育授業を各学年で実施することができた。 食物アレルギーの対応については、保護者に十分に伝わっていないことが本集計結果からうかがえる。 「メディアの使い方について、家庭でルールを決め、約束を守る」

方針 (3)との関連			らせている」ことに関しては、否定的な意見が25%あった。携帯電話等を所持している児童が多いので、各家庭への啓発が必要である。
		食に関する指導の充実	【改善策または継続策】 ・コロナ禍においても、体力づくりに向けて、工夫した取組を実施していく。 ・外部講師と連携しての食育授業を継続するとともに、食物アレルギー対応と併せて、その取組を保護者に積極的に発信していく。
		メディア・コントロール	・メディアの利用について、保護者への啓発を含めた携帯スマホ教室等の実施を計画する。また、メディア・コントロールについては、通信等で積極的に保護者への啓発を図っていく。

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保⑩	学校は、体育の授業や外遊びの推進等により、体力づくりに取り組んでいる。	55.2	34.7	7.9	0.0	2.2	89.9
児⑩	体育の授業や昼休みの外遊びで体をたくさん動かしている。	70.9	16.7	7.0	2.5	3.0	87.6

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保⑪	学校は、子どもたちの健康管理や生活リズムの定着に向けての取組や指導の工夫を行っている。	50.8	39.4	6.6	0.6	2.5	90.2
児⑪	毎日の歯みがきや朝ごはんなど、健康のためにきまりよい生活をしている。	78.5	16.5	1.9	1.7	0.0	94.9

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保⑫	学校は、食育の充実を図るとともに、食物アレルギーへの対応を適切に行っている。	56.2	32.5	4.4	0.3	6.6	88.6

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保⑬	メディア（スマホ・タブレット・ゲーム等）の使いについてお子さんと話し合い、家庭でルールを決め、約束を守らせている。	34.4	40.7	20.8	3.5	0.3	75.1
児⑫	携帯・スマホ、タブレット、ゲームの使い方のやくそくを守っている。	69.6	16.9	4.6	3.8	0.0	86.5

5

	観点	評価項目	結果の分析と対応策
学校経営方針	地域とともにある学校	保護者のPTAや地域での行事・活動への参加	本年度は、コロナ禍の影響により、予定していたPTAや地域での行事等が中止になり、学校・地域・家庭の連携が難しかった。PTA有志による平日の奉仕作業には、たくさんの保護者が参加してくださった。次年度の奉仕作業の在り方について、今後検討していく必要がある。 学校の取組やお知らせについては、文書に限らず、安心安全メールやホームページを通して、積極的に発信することができた。
	自己評価 (3.3)	児童の地域での行事・活動への参加	【改善策または継続策】 次年度は、一昨年度の反省を踏まえ、以下の点について力を入れていきたい。 ・地域との連携を図った授業を充実させるため、地域コーディネーターと協力して教材づくりに取り組む。

(4)との関連		
	学校の情報発信	<p>ホームページと協力してハッシュタグを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会他の保護者が集まる場面で、学校から発信すべきことや小中一貫教育、コミュニティ・スクールの意義、地域行事、PTA行事に参加することのよさやメリット等についてより積極的に発信していく。 ・本学校評価で出された保護者の意見、要望等について、PTA総会等できちんと学校からの回答を行い、信頼関係の構築につなげる。 ・学校行事やPTA行事、取組の精選と計画の改善を行いながら、保護者がより参加しやすいように工夫する。 ・学校ホームページや安心安全メールを活用しながら、学校からの情報発信の一層のICT化を図る。とくに、安心安全メールについては、効果的な活用を模索していく。

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保 ⑭	保護者として、PTA活動や地域での活動に積極的に参加している。						

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保 ⑮	地域で行われるさまざまな行事や活動に、お子さんを積極的に参加させるようにしている。						
児 ⑬	地域の行事や活動にすすんで参加している。						

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
保 ⑯	学校は、通信や安心安全メール、ホームページなどを通じて、学校内外の情報をわかりやすく発信している。	55.5	31.2	5.0	0.3	0.3	86.8

	項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	肯定的な意見
職 ①	小中一貫教育のグランドデザインについて、職員の共通理解が図られている。	0.0	17.8	57.1	3.4	21.7	17.8
職 ②	小中一貫教育のグランドデザインについて、保護者や地域の理解が図られている。	0.0	7.1	64.3	10.7	17.9	7.1
職 ③	めざす児童生徒の姿の実現のために、財光寺中学校区内での各部会提案の共通実践が進められている。	0.0	25.0	32.1	10.7	32.2	25.0
職 ④	小中一貫教育の取組により、めざす児童生徒の姿に近づいている。	0.0	25.0	28.6	7.1	39.3	25.0